

| | | | | | |
|---------|------------|------------|-----------|----------|----------|
| 観客数:740 | 開始時刻:16:00 | 終了時刻:17:26 | 試合時間:1:26 | 主審:桑原 健輔 | 副審:戸川 太輔 |
|---------|------------|------------|-----------|----------|----------|

堺ブレイザーズ



監督：真保 綱一郎
 コーチ：上杉 徹
 通算：3勝3敗
 ポイント：9

| | | | | |
|---|----|-----------------|----|---|
| 3 | 25 | 第1セット [0:22] | 19 | 0 |
| | 25 | 第2セット [0:28] | 23 | |
| | 25 | 第3セット [0:30] | 19 | |
| | | 第4セット [] | | |
| | | 第5セット [] | | |

ポイント 3 【】内はセット時間 ポイント 0
 ()内は交代選手

VC長野トライデンツ



監督：笹川 星哉
 コーチ：アーマツ マサジェディ
 通算：1勝5敗
 ポイント：3

<監督コメント>

まず初対戦のVC長野相手に3ポイントを取れたことは、我々にとって非常に大きく意味のあることだと思います。VC長野の早い攻撃に対して、我々は落ち着いて対応できたと思います。明日は東レのホームゲームで、厳しい戦いが予想されますが、チーム一丸となって戦い、必ずや3ポイント勝ち取ります。本日は応援ありがとうございました。明日も、よろしくお祈りします。

<監督コメント>

1つのミスがいい流れを止めてしまい非常に悔しいゲームになってしまいました。私達はミスを出したら勝たせてもらえないので、ミスを減らし、カバーするボールの質を上げていくしかありません。基本を大事にして明日のゲームを戦いたいと思います。本日もたくさんの応援ありがとうございました。

| | | | | | | |
|----|--------|------------|-------|------|----|----|
| 25 | 関田(松岡) | 出未田 | 第1セット | 高澤 | 椿 | 19 |
| | 高野 | 千々木 | | 矢貫 | 森崎 | |
| | 内藤 | ジョルジエフ(佐川) | | アルテム | 栗木 | |

リベロ: 山本 リベロ: 山本

| | | | | | | |
|----|---------|--------|-------|----------|----------|----|
| 25 | 出未田(山口) | 千々木(堤) | 第2セット | 高澤 | 椿(小林(哲)) | 23 |
| | 関田 | ジョルジエフ | | 矢貫 | 森崎 | |
| | 高野 | 内藤 | | アルテム(長田) | 栗木 | |

リベロ: 山本 リベロ: 山本

| | | | | | | |
|----|--------|------------|-------|----------|----------|----|
| 25 | 関田(松岡) | 出未田 | 第3セット | 椿(小林(哲)) | 森崎 | 19 |
| | 高野 | 堤(小池) | | 高澤 | 栗木 | |
| | 内藤 | ジョルジエフ(佐川) | | 矢貫 | アルテム(長田) | |

リベロ: 山本、今富 リベロ: 山本

| | | | | | | |
|-------|--|--|--|--|--|--|
| 第4セット | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

リベロ: リベロ:

| | | | | | | |
|-------|--|--|--|--|--|--|
| 第5セット | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

リベロ: リベロ:

<要約レポート>

ともに上位浮上のきっかけを掴みたい堺ブレイザーズとVC長野トライデンツの試合は、第1セット、中盤から堺がジョルジエフのスパイク、内藤のブロックなどで徐々に点差を広げる。対するVC長野も高澤、森崎のスパイクで反撃するも、終盤に高野、関田のサービスエースで突き放した堺が25-19で先取した。第2セットも堺がセッター関田の巧みなトスから高野、千々木らが得点を重ねる。VC長野もアルテム、栗木のスパイクで反撃し、途中交代で入った長田、小林の活躍もあり終盤まで追いつがる。しかし最後は出未田のクイックが決まり25-23で堺が2セット連取。第3セットは高さに勝る堺が堤、高野らのブロック、スパイクで序盤から終始先行する展開となる。VC長野も粘り強いレシーブからアルテム、高澤にボールを集め反撃を試みるも堺の高いブロックに阻まれる。最後まで勢いの衰えない堺が25-19で勝利した。

作成者：笠原 隆博